

図書館報 みずもと

第31号
2010年10月

目次

- 教員投稿記事：「経験」の扉を開く
～岩田慶治「草木虫魚の人類学」を巡って～
(キャリアサポートセンター長 高井 俊次)
- 特集：文献複写・図書借用申込
- 教員お勧めの一冊
- 開館カレンダー

「経験」の扉を開く

～岩田慶治「草木虫魚の人類学」を巡って～

キャリア・サポート・センター長
高 井 俊 次



岩田慶治先生の本は、結構たくさん読んだ。

文系の大学院生の特権は、自分の指導教授以外の先生でも、他の大学の先生でも、好き勝手に面白いと思う先生のところへいつでも気ままに足を運べることだ。そんな調子で京大人文研や出来たばかりの民博(民族学博物館)に出入りしていたら、京大生(その中に、上野千鶴子さん(東大教授、「セクシーギャルの大研究」(岩波現代文庫)他)や井上章一さん(国際日本文化研究センター教授、「美人論」(朝日芸文文庫)他)がいた)に混じって、京都工織の院生(奥野卓司さん(関西学院大学副学長、「ジャパン・クールと江戸文化」(岩波書店)他)もいたし、同志社や立命館の学生もいた。中に、まだ、大学にも入れず浪人を繰り返しているくせに大学院のゼミに顔を出す「豪傑ニセ学生」もいた。私自身は1年たらずで足を洗った阪大の社会心理学研究室には、後に全く思わぬ形で出会うことになる金井壽宏さん(神戸大学教授、「人勢塾」(小学館)、「語りと騙りの間」(ナカニシヤ書店・高井と共著)他)が京大の教育心理学研究室から足を運んできていたようだ。

みんな、うるさい連中だった。ある日、楽友会館の喫茶室で上野さん、井上さん、奥野さんの4人で文字通り口角泡を飛ばして大声で何時間も議論して(≡わめいて)いたら、マスターに「君たち、うるさい!もう、いいだろう。出て行ってくれ!」と追い出されてしまった。無理もなかろう。まだ市電の通る東山通りから少し入ったあたりで、静粛さを求めて多くの人が通ってくるところだ。何を話していたかはもう覚えてはいないが、相当に品のよろしくない話であったことは間違いない。

本当に何にあんなに苛立っていたのか、今となっては、全く思い出せない。やたらと権威(という言葉の陰の空虚さ)や真面目さ(という言葉の陰の欺瞞)などといったものに反抗を重ねていたように思う。自分が感じ取っている何かが過剰に溢れ、それを表現する手法が伴わず、自分の言葉の圧倒的な稚

拙さの中で、表現したいもの自体が見えなくなるという悪循環にもがいていたような気がする。

そんな「表現するもの」と「表現されているもの」の間には、本来、微妙なずれが存在するのだということに気付かせてくれたのが、岩田先生の本だったように思う。

岩田先生の本の特徴のひとつは、極めて易しい言葉で綴られていることだ。間違っても、「<表現するもの>と<表現されているもの>の間には論理的必然性は存在しない」などという言い方はない。ましてやソシュールだ、ヴィットゲンシュタインだ、といった聞き覚えのあるような、ないような人名や、「～によれば」という言葉もほとんど出てこない。

その代わりというのはおかしな表現になるかもしれないが、もうひとつの特徴があって、それは、学術書(こうした呼び名こそ権威主義に他ならないと思うが)であるにもかかわらず、<私は>で始まる文章が多いということだ。

例えば、こんな具合だ。

パ・タン村で、私はしばらくのあいだ、総竹づくりの家で一人で暮らしたことがある。床を歩くときにミシミシするのは少々具合が悪かったが、それでも昼間のうちは風通しがよくて快適であった。しかし、夜は自分自身がほとんど無防備のままで自然のなかにさらけだされているようであった。なにしろ、夜半の山おろしの風は物凄いわかりだったのである。竹の壁、竹の床、竹の扉の、あらゆる隙間から夜の風が音を立てて迫ってきた。扉が吹き飛ばされたこともあった。そういうときに私の感じたことは、眼に見える昼間の自然とともに、眼に見えない夜の自然があるということであった。村をとりまく昼の竹林、竹の家、竹の道具類が、眼に見えない夜の竹林となり、姿を失った竹の家、竹の道具となって私をとりまいているということであった。私は竹の命、竹の精霊を感じた。〔「草木虫魚の人類学」〕

「論理」を追求する学術にあって＜私は＞という私小説やエッセイに類似した書き方は不適切だとの意見もあろう。しかし、世界が論理的な構造を備え客観的に把握できるというのは、西欧という一地域の一時期における特殊なものの見方、信念に過ぎない。

むしろ、岩田先生の文章は、世界の論理を追究しようとする際に、世界を構成しているそもそもの＜モノ＞とは何か、という問いを提起しようとしていたように思う。言うまでもなく、そうした提起が行なわれる場所とは、草や木や虫や魚などの様々なモノが、我々が見知っていた自明のモノであることをやめる世界のことだ。

では、草や木や虫や魚などが我々が見知っていたモノでなくなったとき、どんなものとなるのだろうか？そこはモノが様々に語り始める世界なのだが、岩田先生の問いには、当然、こうした問いが続くことになる。言い換えると、岩田先生の問いは、＜我々が見知っていること＞とは何かを問い直すことだと言えよう。

人間の感覚は頼りない。されば、岩田先生の＜私は＞という言葉には、一見した主観論的な色合いに反して、異文化社会のフィールドワークを通じて、極めて実証的にモノについての自らの経験を対象化し、相対化しようという確固たる意思が潜んでいるように思われてならない。おそらく、岩田先生にとって、フィールドワークとは、どこどこ文化ではこれこれのモノはかくかくしかじかに捉えられているという対照表を作ろうとするものでもなく、また、そうした対照表から、例えば、日本文化の特殊性を描き出そうとするものでもなかったであろう。むしろ、「意味するもの」と「意味されているもの」の間に、本来、取り上げられるべき人間の経験があるのだということが明確にされ、「経験の組織化」がいかに可能であるかを問おうとすれば、「私」がコミットせざるをえないことを覚悟する場だったように思う。フィールドとは、経験の扉をひらく場なのである。

一度、岩田先生のご自宅を訪ねたことがある。

阪急京都線の茨木市駅から万博記念公園に向かうバスの中で全く偶然に先生にお会いした。その瞬間、生意気盛りの院生は、失礼を顧みず、「先生の＜草木虫魚の人類学＞を拝読しました」と話しかけていた。メタモルフォーセスの空間という言葉に感激しました、などと堰を切ったかのように話し出してしまった。先生は兼任で教授に就かれていた民博を訪ねられる途中だった。私の厚かましさに押されたのか、バスを降りられる間際に、「一度自宅においで

なさい」と言って下さった。

先生は本務校は東工大でありながら、ご自宅は銀閣寺の近くだった。格子戸の昔ながらの京の家だった。広くはないが落ち着いたお庭に面した廊下の応接セットに通していただき、2、3時間の夢のような時が過ぎた。この時に何を話したかも全く覚えていない。覚えていることは、先生自らがおうすにお茶を立ててくださったことだ。今となっては本当に訪ねたのかどうか、半透明のペールの向うだ。

随分あれから時間がたった。

今から振り返ると、自分の感じ取っているものに何かの形を与えたいと悪戦してきただけのように思える。キャリアとは、自分の人生というフィールドで自分の経験に形を与えようとする努力の経過なのだと言えるのかもしれないと思う。

「草木虫魚の人類学」の初版本は、今も、私の書棚で埃を被っている。

本学の図書館の隅にも岩田先生の本はあった。誰かの読みあとを見ると、私には、誰かが「表現するもの」「表現されているもの」の間の隙間に落ち込んで抜け出そうと奮闘を始めた人がいるように思えてならない。

高井先生、お忙しい中ご投稿ありがとうございます。
 した。

図書館からの追加情報です。

高井先生からご紹介いただいた岩田慶治先生の図書ですが、本学図書館でも所蔵しています。読んでみたいと思われた方は、図書館で貸出可能ですので、ぜひ手に取ってみてください。

下の画像は、OPACで著者名「岩田慶治」と検索した結果です。

The screenshot displays the MuroranIT OPAC search results for the author 岩田慶治 (Iwata Keiji). The page is titled 'MuroranIT OPAC' and features the university's logo. The search results are listed in a table with columns for No., 種別 (Category), and 書誌事項 (Bibliographic Information). The results include 14 items, such as '死をふくむ風景：私のアニミズム' (Landscape that includes death: My Animism) and 'アニミズム時代' (Animism era). The page also includes a sidebar with navigation links and a search filter section.

No.	種別	書誌事項
1	和図書	死をふくむ風景：私のアニミズム 岩田慶治著 -- 日本放送出版協会, 2000. -- (NHKブックス ; 880).
2	和図書	アニミズム時代 岩田慶治著 -- 法政館, 1993.
3	和図書	花の宇宙論 岩田慶治著 -- 青土社, 1990.
4	和図書	アジアの宇宙論 岩田慶治, 杉浦康平編 -- 講談社, 1989. -- (美と宗教のコスモス ; 2).
5	和図書	人間・道徳・自然・東南アジア世界の背景 岩田慶治著 -- 日本放送出版協会, 1986. -- (NHKブックス ; 616).
6	和図書	子ども文化の原像：文化人類学的視点から 岩田慶治編著 -- 日本放送出版協会, 1985.
7	和図書	生と死の弁証法 安部光雅 [ほか] 著 -- 岩波書店, 1980. -- (叢書文化の現在 / 大江健三郎[ほか]編集 ; 6).
8	和図書	文化を超えて エドワード・T・ホール著 ; 岩田慶治, 谷孝訳 -- テイビーエス・ブリタニカ, 1979.
9	和図書	コスモスの思想：自然・アニミズム・密教空間 岩田慶治著 -- 日本放送出版協会, 1976. -- (NHKブックス ; 282).
10	和図書	南アジア 岩田慶治編 -- 大明堂, 1972. -- (世界地誌セミナー ; 2).
11	和図書	東南アジアの少数民族 岩田慶治著 -- 日本放送出版協会, 1971. -- (NHKブックス ; 137).
12	和図書	合掌造り：くらしと風土 岩田慶治文 安達浩写真 -- 淡文社, 1970.
13	和図書	日本文化のふるさと：東南アジア創作民族をたずねて 岩田慶治著 -- 角川書店, 1966. -- (角川新書 ; 216).
14	和図書	東南アジア 鈴木二郎, 岩田慶治, 石川栄吉編 -- 講談社, 1964. -- (世界の文化地理 ; 第2巻).



前ページOPAC検索結果 No. 1 表紙



前ページOPAC検索結果 No. 4 表紙

《特 集》

『文献複写・図書借用申込サービス』について

みなさんは、レポートの作成時や論文の執筆時などに、例えばこんな経験ありませんか？

- 例1 参考文献が掲載されている論文雑誌を閲覧しようと思ったら、学内では所蔵していない
- 例2 参考論文を電子ジャーナルで見つけたが、アブストラクトしか見られない、学内でも論文は所蔵していない

すぐ、図書などを購入できたり、たまたま学内の先生がその雑誌を持っていたりするとよいですが、そのような場合は少ないと思います。購入するにしても専門書や専門雑誌の金額はかなり高額です。

そこで、そのような悩みを持つみなさんのために、本学図書館では以下のサービスを行っています。

- ① 雑誌などに掲載されている論文の複写物を取り寄せる。
- ② 図書を他の図書館から借りる。

それぞれ、①は「文献複写サービス」、②は「図書借用サービス」と呼んでいます。

この2つのサービスは図書館のホームページ上から簡単にお申込みできますので、どんどんご利用ください。

ただし、みなさんがこのサービスを利用する前にいくつか注意点があります。

- 注意1) 本当に学内に欲しい文献が無いのか、OPACや図書館カウンターでもう一度確認してから申込みましょう。図書館にあった場合、単なる無駄な出費になります。
- 注意2) このサービスは本学構成員(=学生、教員等)のみに提供するサービスです。
- 注意3) お探しの図書や雑誌などがどこの図書館にも所蔵されていないこともあります。また、相手図書館側の都合により文献複写や図書借用が不可能な場合があります。その際にはご了承ください。

では、次のページから、サービスの利用方法について具体的に説明していきます。

1. 図書館ホームページトップの「文献複写・図書借用申込」をクリックする。



画面は、図書館ホームページのトップです。(URL ; <http://www.lib.muroran-it.ac.jp/>)

2. 「文献複写申込」,または「図書借用申込」をクリックする。なお今回は、文献複写申込を例に説明いたします。



「文献複写・図書借用申込」をクリックした後の画面です。

3. 利用者IDまたは登録名とパスワードを入力して、ログインする。

IDとパスワードは情報メディア教育センターや図書館のパソコンを使う際に入力するIDとパスワードです。わからない方は、情報メディア教育センターに確認してください。

「文献複写申込」をクリックした後の画面です。

4. 資料（図書か雑誌）の選択後、選択ボタンをクリックしてください。

②に「費用の支払方法は以下に設定されています。」と公費・私費の選択とあります。

公費と私費の違いについては、「5. ⑤公費払いと私費払いについて」で改めて説明します。そのまま進んでください。

IDとパスワードを入力し、クリックした後の画面です。

5. 依頼情報を入力します。

依頼情報の入力

以下の情報を入力し、申し込みボタンを押してください。

①以下の資料情報を入力(確認)してください。

論文名:

論文著者名:

*資料種別:

ISSN: CODEN:

巻号等: 出版年(西暦):

ページ:

著者:

出版者:

書誌ID: LCCN:

書誌典拠: 所蔵典拠:

②以下の依頼者情報を入力(確認)してください。

利用者ID: 10999162 氏名: 右田 初

所属部: 図書館 所属部署: 教職員

利用市区分: 事務職員等 有効期限日: 2013/03/31

依頼件数: 0件

E-mail: ※ E-mailの変更:

※ E-mailの確認: @

郵便番号:

住所:

*連絡先: 000-000-0000 ※ 左記以外:

③以下の依頼情報を入力(確認)してください。

資料種別: 雑誌 サービス種別: 複写

複写種別: 電子複写

送付方法:

申込日: 2010/09/21

申込区分: 職員

④通信欄

備考:

申し込み クリア

選択ボタンをクリックした後の画面です。

次ページに、依頼情報入力の際の注意点を挙げていきます

＜依頼情報入力の際の注意点＞

①資料情報について

- できるだけ正確に記載してください。わからない箇所は空白でもかまいません。
(記載内容に誤りがあると、複写物の取り寄せに時間がかかることがあります。)
- 「論文名」と「雑誌名」が逆に入力されていることがあります。気をつけましょう。
- 論文名、雑誌名、巻号等、出版年、著者がわかると図書館として助かります。

②依頼者情報について

- 連絡先については、電話番号は必ず入力してください。
(特に、私費払いを希望する場合は、依頼された複写物が届いたのちに、入力された電話番号に図書館から連絡します。)

③依頼情報について

- 複写種別は、「電子複写＝雑誌をコピーしたものを郵送してもらう」、「FAX＝図書館にFAXしてもらったものを本人へ引き渡す」ことになります。なお、「マイクロ」については現在行っておりませんので選択しないでください。(マイクロ＝マイクロフィッシュのことです。)
- 送付方法は、速達とFAXがあります。指定しない場合は通常の郵送になります。速達を希望する場合は、通常の送料に速達料金が上乗せされます。

④通信欄について

- 複写物について別途希望がある場合は、こちらに記載してください。

⑤公費払いと私費払いについて

- 複写物の代金の支払方法は以下の2つの方法があります。
 - a. 公費払い＝教員が持っている大学のお金で複写物の代金を支払う方法
 - b. 私費払い＝自分のお財布にあるお金で複写物の代金を支払う方法
- 公費払いを希望する場合は、まずみなさんが所属している教員の許可を得てください。
- 教員の許可を得て、申込時、通信欄に「公費払い希望」と記入してください。その際、教員名と教員の予算コードを忘れずに記入してください。(予算コードは教員に確認すること。)
- 公費払いを希望した場合、届いた複写物は学内便で教員宛に送ります。みなさんは教員から複写物を受け取ってください。なお、支払手続きは不要です。
- 私費払いを希望した場合は、複写物が届き次第、ご本人に直接連絡します。
- 複写物の料金支払い方法については、図書館カウンターでご説明します。

⑥その他

- 論文によっては、写真や図面などがカラーページの場合があります。もしカラーページを希望する場合は、「カラーページ希望」と通信欄に記載してください。なお、依頼する図書館などによっては、モノクロのみ受付する施設の場合もありますのでご了承ください。
- 複写物の受け取りは、平日の午前9時～午後5時までをお願いします。複写物の受け取りや料金支払等の事務処理の都合上、土日、図書館休館日、および平日でも午後5時以降は受け取りできません。なお、複写物が届くまで、1～2週間程度見込んでください。
- 複写料金の目安としては、「モノクロ＝40～50円／1枚」、「カラー＝70～100円／1枚」です。別途、送料がかかります。

ILL 複写依頼 - 依頼内容の確認

複製依頼の内容確認
以下の内容でILL依頼を行います。よろしければ決定ボタンをクリックしてください。

●対象資料情報
論文名:
論文著者名:
資料雑誌・図書名: aueo
ISSN:
巻号等:
ページ:
著者:
出版者:
書籍ID:
書籍典拠:
CODEN:
出版年(西暦):
LCCN:
所蔵典拠:

●依頼者情報
利用者ID: 10000102
所属館: 図書館
利用者区分: 事務職員等
依頼件数: 0件
郵便番号:
住所:
連絡先: 000-000-0000
氏名: 若田 和
所属部署: 総務課
有効期限日: 2019/03/31
E-mail:

●依頼情報
資料種別: 雑誌
複写種別: 電子複写
申込館: 図書館
申込日: 2019/09/21
支払区分: 館費
サービス種別: 複写
送付方法:

●通信欄
備考:

すべて入力後、申込ボタンをクリックした後の画面です。

6. 記載内容の確認後、決定ボタンをクリックしてください。これで申込完了です。

なお、図書借用申込サービスの操作方法も、文献複写申込サービスと変わりませんが、図書借用申込サービス特有の注意事項があります。

注意事項

- 借りることができるのは、図書のみです。(雑誌は借りられません。)
- 図書を借りることができる期間は、輸送期間を含めて2週間～1か月程度と考えてください。借りることができる期間は、実際に図書を借りた相手先により異なります。
- 支払金額は、送料及び手数料です。送料は図書の大きさや重さにより異なりますが、500～1,000円程度、手数料は図書を借りた相手先により異なりますが、0～300円程度です。
- 図書はゆうメール+簡易書留で送られてきますが、国内のみの取り扱いです。
- 海外の図書館で所蔵されている図書を借りたいときは別途相談に乗ります。お手数ですが、図書館カウンターまでご連絡ください。
- 出版されたばかりの図書(つまり、最新図書)は借りることはできません。この場合は、図書リクエストをご利用ください。

文献複写・図書借用申込サービスについてご不明な点などございましたら、図書館までご連絡ください。カウンターに直接質問していただいてもかまいません。



学生の皆さんへお勧めの学習用図書を、室工大の先生に紹介していただきました。

今回お勧めしていただいた図書は、図書館で所蔵していますので、是非ご覧ください。見つからない場合はカウンターまでどうぞ。

書 名	Design basic book ：はじめて学ぶ、デザインの法則	出 版 社	ビー・エヌ・エヌ新社
著 者 名	生田信一，大森裕二，亀尾敦	配架場所	2 F 一般図書
学 科 名	機械システム工学科／機械航空創造系学科	推 薦 者	風間 俊治
副題に「はじめて学ぶ、デザインの法則」とあるように、これからデザインを学んでみようと考えている読者が想定されています。デザイン全般、書体、カラー、レイアウト、編集などについて、事例とともに易しく書かれています。 見開き1ページの構成、章末の参考文献、巻末の用語解説など、細やかな工夫が凝らされています。デザインを本格的に学ぶ建築系以外の学生さんに、是非、手に取って頂きたい一冊です。 なお、タイトルは英語ですが、洋書ではありません（一寸、英語に不安のある方も、ご安心を）。			



（図書館に入荷したばかりの図書です。チャンスです。）

書 名	異文化理解	出 版 社	岩波書店
著 者 名	青木 保	配架場所	2 F 文庫新書
学 科 名		推 薦 者	朴 仁哲
日本を代表する文化人類学者が書き下ろした秀作。本書では、著者の該博な知見を平易に展開しながら、混成化する文化を見据え、真の相互理解の手掛かりを探っている。 著者は、かつてフィールドワークの一環として、タイで僧侶として、異文化体験を経験した。本書のなかで、著者の体験が随所に散りばめられており、読者を飽きさせずに筆を進めている。 本書では、グローバリゼーションが進める文化の「画一化」や異文化理解する際のステレオタイプの危険性に警鐘を鳴らしつつ、異文化との対話の大切さを力説している。著者によれば、異文化との対話には、三つの段階がある。つまり、「自然」のレベル、「社会的」レベル、「象徴」レベルがある。この「象徴」レベルを理解することこそが重要だと強調している。 しかし、著者は決して説教しているわけではない。なぜなら、著者は文化人類学者として、絶え間なく、自文化と異文化の「境界」を行き来しており、自文化と異文化の狭間に生きているからだと考えられる。この本を読み始めると、すでに「異文化理解」が始まるだろう。 著者のもう1冊の同じく岩波新書で刊行された『多文化世界』(2003年)も合わせて読むことをお勧めしたい。			



(教員が合わせて読むことをお勧めしている「多文化世界」も、図書館にあります。)

書 名	共立 数学「復刊」シリーズ	出 版 社	共立出版
著 者 名	多数	配架場所	1 F 一般図書
学 科 名	ひと文科系領域数理ユニット	推 薦 者	森田 英章
共立出版の数学「復刊」シリーズです。いずれも名著の誉れ高く、長く読み継がれてきたものです。惜しまれつつも絶版の状態が長く続いておりましたが、10年ほど前から徐々に復刊されはじめ、今日のようなラインナップの充実を見ることとなりました。 講義でも様々な数学に触れる機会があると思いますが、皆さんの持たれた多様な疑問に答え、また興味のさらなる発展・深化に向け、このシリーズはかならずよき指針を与えてくれるはずです。			



(画像は、復刊シリーズの参考例です。共立出版の数学シリーズについては、共立全書として復刊する前のシリーズも本学で所蔵しています。)

書 名	Graded Readers	出 版 社	本学図書館に配架している出版社は、 MacmillanReaders, PenguinBooks, Oxfordbook があります
著 者 名	様々です	配架場所	2 F 文庫新書
学 科 名	ひと文化系領域/共通講座	推 薦 者	ハグリー エリック トーマス, 橋本 邦彦, 丹菊 喬二, 塩谷 亨, 島田 武, 松名 隆, 寺田 昭夫
学生の将来の希望や夢には英語の関わりが大きいです。英語はビジネス、インターネット、自分の研究等に影響を与えます。 英語を上達する方法のうちの1つは、英語の本を読むことです。多くの本当に面白く楽しい英語小説があります。しかも本当に読みやすい小説です！まったく初心者レベルからネイティブレベルまで、英語小説を読みたい人ならこのグレーディドリーダで見つけられます。初心者レベルの小説は200の一番よく使われている単語しか使わないので本当に読みやすいです。 各シリーズにある全ての小説は、あなたをわくわくさせます。各小説を読み始めると最後まで読みたくなります。しかし一番良いポイントは「英語なのに読みやすい」ことです。英語のレベルを上げるにはこれほど楽しい方法はありません。日本語だけで物足りないあなたは英語の講読愛好者にもなります！			



(左からMacmillanReaders, PenguinBooks, Oxfordbookの表紙(参考例)です。CD-ROMが付属しているものもありますので、CD-ROMを合わせて借りたい方は、カウンターまでお越しください。)

平成22年度 室蘭工業大学 附属図書館開館カレンダー

2010年10月 ～ 2011年3月

2010年

10月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

11月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

12月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

2011年

1月	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

2月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28					

3月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

開館時間

9:00～21:00	授業期の月～金曜日
	試験期の月～金曜日
	試験期の土日・祝日
9:00～17:00	休業期の月～金曜日
10:00～17:00	授業期・休業期の土曜日・日曜日
休館日	授業期・休業期の祝日
	年末年始（12/28～1/4）

編集発行 室蘭工業大学附属図書館

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号

TEL：0143-46-5189 FAX：0143-46-5196

URL：<http://www.lib.muroran-it.ac.jp/>